

令和5年度 事業報告書

1 若林こどもの園 の運営

(1) 定員 2・3号 120名(2号…72名 ・ 3号…48名) 1号9名(少・中・長…各3名)

(2) 年齢別・月別入所児童数(各月初日現在)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0歳児	5	5	5	5	6	6	7	7	8	11	11	12	88
1歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
2歳児	21	21	21	20	20	20	20	20	20	20	20	20	243
3歳児	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	21	21	262
4歳児	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	276
5歳児	27	27	27	27	27	27	26	26	26	26	26	26	318
計	115	115	115	114	115	115	115	115	116	119	118	119	1391

(3) 職員数 令和5年度 28名(理事長含)

(4) 職員の異動

- ① 採用 3名 (今村果琳・黒野恋夏・植草未来)
- ② 異動 1名 (大屋明日香)
- ③ 退職 5名 (井上若菜・鈴木香名・伊藤桃果・岩崎友紀・重浦悠莉)

うち4名は外部委託給食の切り替えに伴い、会社都合による退職

(5) 職員会議の開催状況

・職員会議、全体会は毎月1回ずつ、未満児・以上児・非常勤と分散し参加を促した。それぞれの立ち位置から気づいた事を積極的に発言出来るように事前にテーマを伝え、各自の考えを付箋にまとめておき、会議の時間の短縮や効率化を図った。

事故防止会議もヒヤリハットを中心に、全員で問題が出たらすぐに考える機会をつくり改善点を考えた。

・月1回の給食会議ではアレルギー児に対する除去食について、内容の検討、行事食について話し合い、コロナによって中止となっていた食育デーも復活し、年長児を中心に食材クイズ等を取り入れ、興味関心に繋がった。

・クラス担任の午後の時間を有効に使えるように非常勤職員と交代し、子どもと接触しないノンコンタクト時間を作った。効率よく話し合いがなされるように、クラス間の調整に努め常に課題を持ちながら進め、全体で全園児を観る意識を高めていった。

・学園研修や主幹会議を行い、共同意識を高めた。

2 保育の実施状況

(1) <<教育目標>> 明るく たくましく 賢い子 の育成

明るい子(徳育)	挨拶のできる子、コミュニケーション能力のある子 人と人との付き合い、関わりの第一歩 心を伝える 「おはようございます」が言える子にしたい 相手も自分も、気持ち良くなる、挨拶ができる子は 必ず素敵な笑顔が出てきます
たくましい子(体育)	心も身体もたくましい子 失敗にも負けず、もう一度挑戦する子にしたい 泥んこになる事に抵抗無く、エネルギーを爆発させて遊べる子は 何に対してもチャレンジする心が育ちます
賢い子(知育)	なんでだろう? どうしてかな? と考えることができる子 一つの遊びを集中して行い、最後まで遊びきる子は満足して 次のステップに進むことができます
感性豊かな子(美德)	自然と人との関わりの中で育つ「心」 与えられ、限られた環境の中では作られた感性しか育ちません 原石のような子ども達にこそ、本物の中で感じる心を育てて欲しい

<<未満児保育目標>>

- ・五感を養う(見る・触れる・嗅ぐ・聴く・食べる)
- ・人の話を聴こうとする

◎ 理想とする子どもの姿

- 外界(物・自然)に興味を持つ子(見たい・触れたい・やってみたい)
- 指さしや言葉を通して気持ちを表す子(教えたい・伝えたい)
- 人への興味・関心を持ち自我を発揮する子(自分でしたい)

明るい子	元気よく園に来ることが出来る子
たくましい子	自分から遊びを見つけ楽しく遊べる子
賢い子	自分の事は自分でやろうという気持ちを持つ子
感性豊かな子	自分の気持ちが表現できる子

<<教育方針>> 顔の数だけ 個性がある

汗をかきながら、園庭を力いっぱい走り回る子がいます。
太陽の下で瞳を輝かせ、元気よくお話をしている子がいます。
地面のアリを見つけ、その行列を真剣に追いかける子がいます。
園にはいろいろな子どもがいます。
そんな素晴らしい可能性を秘めている子ども達の二度とない幼児期に、

より多くの体験を通してたくさんの事を体得して欲しいと思います。

〈保育理念〉

一人一人のこどもの個性を大切に受け止め、どの子も明るく幸福生活を送る事ができるように、保護者・地域・保育者が共に手を取りこどもの最善の利益を図る。

※ 毎月行う職員会議において、行事、各事業、日々の保育についての園の方針や、保育士のあり方を話し合い、目標達成へ向けて努力した。又スモールステップ研修を心掛け、実技を中心に行った。

(2) 保育時間 午前 7時00分 ～ 午後 7時00分
 (延長保育時間) 午後6時00分～午後7時00分・・・保育標準時間利用
 午前7時00分～午前8時00分・・・保育短時間利用
 午後4時00分～午後7時00分・・・保育短時間利用
※教育時間 1号 9:00～13:00

(3) 保育内容

- ◎ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、全体的な指導計画を作成し、見通しを持った教育・保育を行った。小学校との連携やそこから繋がる教育を考え、アプローチカリキュラムを取り入れた。
- ◎ 保育理念である「子ども一人ひとりを大切にしたい安心できる環境づくり」に重点を置き、日々の保育の中で個々の発達に沿った働きかけに努め成長を促しながら生きる力を育んでいった。
- ◎ 園周辺の環境を生かして、園外散歩へ出かけた。地域の人たちとの交流を大切にしていきながら自然に触れることで四季の移り変わりを体で感じる事ができた。また、交通安全指導等を通し、正しい交通ルールを知らせていった。年長児は、西図書館で絵本などの貸し出しを通し、地域資源の利用も経験した。
- ◎ 年齢に応じて保育環境を準備し、基本的な生活習慣を身に付けるための援助、言葉かけを行い、自立心を養った。また、遊びの中で、集団生活に必要なルールを知らせていった。
- ◎ 各計画の整合や計画実践後の評価・反省による「振り返り」に重点を置き、次の計画への反映などに努め、より効果的な保育が実施できるようにした。
- ◎ 行事・活動を通して異年齢の関わりの中で育ちを促した。(夏祭り・お店屋さんごっこ等)
- ◎ 発達段階を見据え、見通しを持ちながら、「つながる保育」をテーマに担当職員を中心に遊びを繰り広げた。
- ◎ 戸外遊びを豊富に取り入れ、心の開放を図り、遊びの足りない子ども達を満足させることに配慮した。
- ◎ 発達支援児の保育を丁寧に行うことで、定型発達の子どもにも、豊かな関わりを育てる土壌を作った。
- ◎ 園内研修で、ドキュメンテーションを通して、こどもの心と遊びの考察を図った。公開保育も行い、南部地区の幼稚園の先生からも意見を頂く機会を持った。
- ◎ 可美地区の保幼小中の学校と連携を持ち、それぞれの活動や子ども達の育ちを公開保育や行事などで確認したり、意見を伝え合う機会を持った。

(4) 実施した特別保育事業名

- ◎ 延長保育事業
- ◎ 施設機能強化推進事業(総合防災対策強化事業)
- ◎ 食物アレルギー児調理業務

(5) 実施した主な行事

入園式(4月) 引き渡し訓練(5月) こども夏まつり(7月) お楽しみ保育(7月)

親子スポーツデー(3月) 保育発表会・あゆみの会(12月) 園外保育(3月)

交通安全教室(10月) 卒園式(3月)

・親子スポーツデーは11月インフルエンザ感染が著しく、3月に延期とした。(2歳児～5歳児)

※その他 季節の行事(花見、すいか割り、、クリスマス会、餅つき、豆まき、ひなまつり、等)

※年齢により参加、不参加あり

※毎月の避難訓練・消火訓練

○保護者会

個人懇談会(年1回…全員 3学期は年中児全員、他学年は希望者)

クラス進級説明会・懇談会(3学期)

給食試食会(未満児・3歳児クラス)

クラス参観会・あゆみの会

○地域とのかかわり

・自治会長さんとの会談

・園便り・子育て支援情報掲示

・地域避難場所の確認および避難のお手伝い依頼

・近隣公園、公会堂への散策および触れ合い体験

・西図書館・棒屋スイミングクラブの利用

・学校の配信回収や地域のラジオ体操、夏祭り等の練習会場の提供

・可美中学校学区と保幼小交流会を持った。(可美中学校・可美小学校・可美幼稚園・可美保育園・たかつか光こども園)

3 給食の実施状況

季節の食材を取り入れた手作り中心で和洋中のメニューを偏りなく取り入れていった。また、噛む力を育てるためかみかみデーとして硬さ・軟らかさや食材の切り方に工夫した。月1回行われる給食会議では現状を考慮した上で、食材の幅を広げ様々な味覚を経験させていく案を出し合った。又季節感やお楽しみも大切に、行事食も嗜好を凝らして取り入れた。アレルギー体質の子どもは生活管理指導票を提出して頂き、特に家庭との連絡を密にし、その子どもにあった食材の使用を行った。又、食育の観点から、食育デーや、料理デー、等の活動や厨房職員による食に関する情報をアプリで流し保護者に興味や関心、ヒントなどを提供した。として、献立の見直しを図っていった。引き続きカルシウム・鉄分補給としてレバーや飲むヨーグルトの回数を増やした。

(1) 0歳児

初めての食材は家庭で口にしたものを取り入れるなどし、その子の月齢や離乳食の進み具合には注意を払った。喫食状況を連絡帳や口頭で知らせ、家庭と園とで連携をとりながら食材の幅を広げ対応していった。

※慣らし保育の期間、実際に保護者に来園頂き、離乳食やミルクの提供を保育士を交えて行い、互いの食に対する感覚をつかんでいった。

(2) 1～2歳児

完全給食に加え、9時と15時のおやつを実施した。自発的に食べる喜び(楽しく食べる)を柱に考えた。

(3) 3歳児以上

主食、副食と15時のおやつを提供。

(4) 15時のおやつ

給食とのバランスを考えた上で、熱量、カルシウム補給を中心に提供した。素材の味を大切に考え、ふかし芋やバナナ等の回数も増やした。誕生会の日にはスペシャルメニューを計画し、特別感を出していった。

(5) 延長保育の間食を提供した。

4 健康管理の実施状況

(園児)

① 小児科

年2回(5月、11月)園嘱託医による健康診断を実施した。

② 歯科

年2回(6月・10月)園嘱託歯科医による歯科検診を実施した。

※当日欠席の園児は後日受診し、全員実施した。

歯磨き強化週間を設け、自宅で歯磨きをしっかりしたら塗り絵カレンダーに色塗りをすることも考えた。

(職員)

① 定期健康診断

年1回、一般財団法人 東海検診センターによる健康診断を全職員に実施した。

検査実施日現在35歳、40歳以上の職員に血液検査を実施した。

② 検便

月2回 厨房職員、月1回 乳児担当職員は『赤痢・サルモネラ菌』

『病原性大腸菌(O-157)』の検査を専門業者マルマに依頼して実施した。

5 非常災害危険防止の実施状況

(1) 避難・消火・通報訓練において

- ・月1回、様々な角度から状況を想定して、避難、通報訓練を行った。
- ・通報訓練では浜松防災の担当者を招いての通報の仕方、避難の仕方を見て頂き振り返りによって学びを深める事が出来た。。水消火器の使用は、順次職員が試した。

(2) 救急において

- ・浜松市南消防署の消防士を講師に招き救急救命の講習会を行った。

(3) 交通安全において

- ・6月の交通指導員派遣、10月の年長親子交通教室によって、実際に園周辺を歩き、こどもたちの安全意確認と、就学までの課題をつかんだ。
- ・11月近隣の道路で帰宅途中の小学生が交通事故に巻き込まれた。路側帯内を歩いている、車の突っ込みによって被害を受けた。園内研修として、今一度散歩やスイミングクラブ、図書館などの利用時に使用する道の安全性を話し合い道路利用マップの作成と、保護者への周知を図った。。

(4)不審者訓練

- ・各自携帯している携帯スマートフォンにより、情報を拡散，収集し不審者から逃れる(隠れる)訓練を重ねた。
- ・園出入り口の門の自動施錠の習慣づけをしていった。

6 地域との交流事業

- ・散歩に出かけ、積極的に子どもたちと会話や、挨拶を重ねていった。
- ・西図書館、西郵便局、棒屋スイミングスクール、等地域資源を有効に利用させていただいた。

7 研修

(1) 職員の外部研修会

年月日	場所	内容
R5, 4/3・4	ずだじこども園	新規採用者研修
R5, 4/22	第1回初任者研修(静岡)	今後に向けて (今村・植草・黒野)
R5, 4/25	自園	園庭遊びの約束 (全職員)
R5, 4/28	Zoom	食中毒予防対策講習会 (岩崎) ・食中毒予防のポイント・情報提供
R5, 5/13	第2回初任者研修会(静岡)	演習・・・絵本の選び方 (今村・植草・黒野) 講義・・・自園保育の理解と実践
R5, 5/25	浜松保健所	歯科健康教育研修会 (井上) 歯磨きブラッシング指導法(CD)
R5, 5/15	Zoom	重大事故防止研修 (大屋) 安全管理の徹底・重大事故の備え
R5, 5/23	自園	重大事故防止研修 (全員)
R5, 6/2	Zoom	防災研修会 (黒田)
R5, 6/7	第3回初任者研修(ずだじ)	こどもに寄り添うってどんなこと? (今村・黒野・植草)
R5, 6/13	Zoom	保育の質向上に関する研修会 (平林)
R5, 6/16	自園	福利厚生研修 (正規職員)
R5, 6/20	自園	災害対策研修 (全員)
R5, 6/21	アクト	県保連中堅職員研修 (疋田) ・こども達の為に～10年先の健康と運動の勧め
R5, 6/22	自園	乳幼児の心肺蘇生法・止血・気道異物除去 (南消防署)
R5, 7/7	Zoom	園長管理職研修会 (磯部・神尾) ・保育の質を高める園づくり

R5、7/4	自園	ドキュメンテーションとは (全職員)
R5、7/10	可美保育園	公開保育 (大屋・神尾)
R5、7/13	自園	保育ドキュメンテーション:未満児についての考察
R5、7/26	アクト	特別支援研修(田中)
R5、7/26	自園	出前講座(外部研修:生活衛生課) ・食の安全について
R5、7/31	Zoom	乳幼児研修(岡村)
R5、8/7	クリエート	浜私幼 「絵画の実技研修」(疋田・神尾・越野)
R5、8/4	You Tube	第4回新任研修 絵画・自然
R5、8/9	グランシップ	第5回新任研修 「表現遊び」「造形遊び」
R5、8/12・14	YouTube	4～7年目研修 保育記録の書き方(平林・吉野・藤田)
R5、8/21	クリエート	浜私幼 「絵本」「保育がもっと楽しくなる仕事のコミュニケーション」 (大屋・佐原・影山)
R5、8/22	クリエート	浜私幼 「保護者対応」「体幹」(井上・小池・黒田)
R5、8/23	自園 松井竹	出前講座(児童相談所:長谷川氏) 職員全員
R5、8/28	Zoom	ミーティング型オンライン研修 幼児期に育てたい力 佐原
R5、9/5	ずだじ	「今、必要とされる園づくりについて」 石田敦志氏 園長・神尾・大屋・影山
R5、9/14	たかつか光こども園	保幼小中公開保育研修 園長・神尾・大屋
R5、9/15	自園	保育ドキュメンテーション:以上児 (全員)
R5、10/5	こども園ことり	SDGsと保育 講師:小西貴士氏
R5、10/12	Zoom	管理職研修 発達支援の視点からマネジメントを考える 松井剛太氏
R5、11/14	自園	こ保幼小中公開保育 避難グッズ作り ・長・・・ランタン ・中・・・段ボールハウス・草履
R5、11/13	可美小	1年生音楽会 (今村・黒野・植草)
R5、11/28	自園	浜私幼公開保育「こどものあそびと心の考察」 録画鑑賞 年長こども会議 先生会議(発表)

R5、12/13	ずだじこども園	手遊び・スケッチブックシアター(年齢ごと) (黒子・今村・植草)
R5、12/14	可美小	授業参観・・・こ保幼小中連携について考える (今村・黒田・植草)・・・1年目研修
R5、12/20	浜松市教育会館	1、講演:乳幼児に大切にしたい健康習慣 2、グループワーク かわだ小児科クリニック
R5、12/20	自園	浜松市出前講座 生活衛生課:鈴木裕之氏 加藤悠奈氏
R6、1/10	岩田こども園	1年目研修(黒野・今村・植草) こどもが興味をもつ環境の作り方 活動に入る前の導入方法
R6、1/15	たかつか光こども園	公開保育(モンテッソーリ教育)の見学 影山・磯部
R6、1/17/18	自園	理事長研修・未満児・以上児の事(全職員)
R6、1/23	自園	研修報告会(全職員) ・8つの遊びの実践 ・タオルボール・進化じゃんけん・数字じゃんけん・鳴き声集め・じゃんけん列車・マンとヒヒ・色で集まれ
R6、1/25	自園	研修報告会(大屋・影山) ・仕事のコツ・コミュニケーション
R6、2/14	自園	課題を抱えている保護者対応(虐待・多動) (今村・黒野・植草)
R6、2/15	グランシップ	1、保育者として (今村・黒野・植草) 2、2年目に向けて
R6、2/19	自園	全職員・・・1年の学びを伝え合う
R6、2/29	浜松市協働センター	1、小学校の捉え方・グループワーク 2、幼小の円滑な継続を目指して (今村・植草・黒野)
R6、3/	ずだじこども園	法人研修のまとめ(大屋・藤田)

(2) 園内研修の実施状況

- ・AED研修・嘔吐物処理研修
- ・防災研修・防犯研修
- ・虐待研修・リズム研修
- ・発達支援の研修
- ・事故防止研修
- ・法人内交流研修(SDGs 含む)
- ・発電機の取り扱い方を学ぶ研修 等
- ・ドキュメンテーション研修(園内から、地域発信<<可美地区の保育園、幼稚園、小学校、中学校)

- ・、職員会議内で、研修に参加した各職員の研修報告を元に疑問点や質問、保育に関する情報などを取り入れた。
- ・現場の担当者が集まり、意見交換することで指導計画等を見直し子どもへの関わり、保護者への対応の仕方を研究しながら保育の向上を目指した。

8 一日保育体験学習の受け入れ状況

- ・令和5年度は浜松南高1年生80名の受け入れをした。又、朝の挨拶運動として可美中学校生7名受け入れた。

9 実施した設備整備

- ・特になし

10 苦情処理受付状況

- ・苦情件数 0件 引き続き分かりやすい情報発信に努め、早めの対応を心掛ける。